

— 第855回九大原子核セミナー —

講師：八尋 正信氏 (九州大学)

演題：クォーク系、核子系に対する有効理論
-RIBF,J-PARCの物理へ向けて-

日時：4月24日(金) 16時30分～

† 今回は通常と時間が異なりますのでご注意ください。

場所：理学部 物理大学院講義室 (理学部2号館2階2263室)

概要

最初に、簡単に研究室の研究体制について述べる。クォーク多体系および核子多体系を理解する上で最も有効な方法が有効理論である。クォーク多体系の有効理論として、最近注目されているのが、Polyakov-loop extended Nambu Jona-Lasinio (PNJL) 模型である。この模型を使った九大グループの最近の仕事を紹介する。次に、核子多体系として、不安定核反応を取り上げる。九大グループでは、Glauberを拡張した新しい理論を提案した。この理論の紹介をする。最後に、RIBF,J-PARCの物理について展望する。

連絡先：九州大学理学部物理学教室原子核理論研究室
TEL：092-642-2111 (内線 8357)
角 剛典 (sumi@phys.kyushu-u.ac.jp)